薩摩川内市人口ビジョン 人口の将来展望

<u><推計条件(仮定値)></u>

- 〇推計手法 コーホート要因法※
- 〇使用した人口 国勢調査人口
- 〇推計期間 平成27年(2015年)~平成72年(2060年)
- 〇生残率

社人研(国立社会保障・人口問題研究所)の仮定値

〇合計特殊出生率

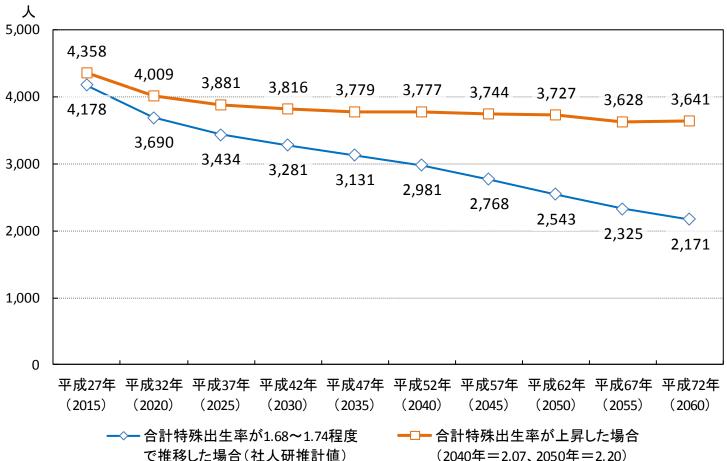
平成27年(2015年)は1.82(平成24·25年概算平均値)、その後平成52年(2040年)=2.07、平成62年(2050年)=2.20に向けて逓増、さらにその後は同率で推移

〇純移動率

平成27年(2015年)は自然体、10~19歳は平成72年(2060年)にプラス、マイナスとも0に向けてなだらかに逓増、漸減、また、0~9歳と20歳以上は平成52年(2040年)にプラス、マイナスとも0に向けてなだらかに逓増、漸減、さらにその後は同率即ち増減なしで推移

コーホート要因法:人口推計手法の1つ。まず、性別、年齢階層別の基準人口から出発して、各年齢階層の人口が1年後または5年後に1歳または5歳だけ年齢を加えたとき生存している数をコーホート(同時出生集団)的に求め、その1年間または5年間に生まれる出生数を算出し、男女に分けたうえで生命表より期末に生存している数を計算し生残率を求めます。一方、転入・転出といった社会増・社会減より計算し純移動率を求めます。そして両者よりコーホート変化率を算出し、基準人口に対して1年または5年ごとに掛け合わせて推計します。現在では、わが国でも、また、国際的にも最も標準的な人口推計方法となっています。

1.0~4歳の人口推移(合計特殊出生率仮定値別)

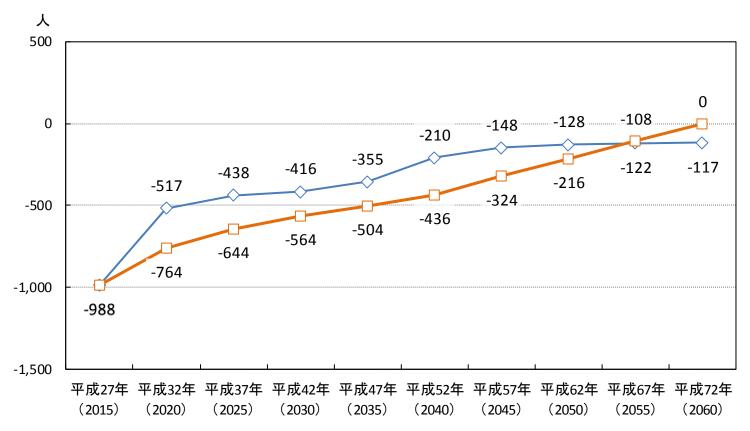


で推移した場合(社人研推計値)

(2040年=2.07、2050年=2.20)

		平成27年 (2015)	平成32年(2020)	平成37年	平成42年 (2030)	平成47年 (2035)	平成52年 (2040)	平成57年(2045)	平成62年 (2050)	平成67年 (2055)	平成72年(2060)
合計特殊出生率が1.68~1.74程度 で推移した場合(社人研推計値)	0~4歳	4,178	3,690	(===,	3,281	3,131	2,981	2,768	2,543	2,325	2,171
	1歳区分平均	836	738	687	656	626	596	554	509	465	434
合計特殊出生率が上昇した場合 (2040年=2.07、2050年=2.20)	0~4歳	4,358	4,009	3,881	3,816	3,779	3,777	3,744	3,727	3,628	3,641
	1歳区分平均	872	802	776	763	756	755	749	745	726	728
社人研推計値との差(増加数)	0~4歳	180	319	447	535	648	796	975	1,184	1,303	1,470

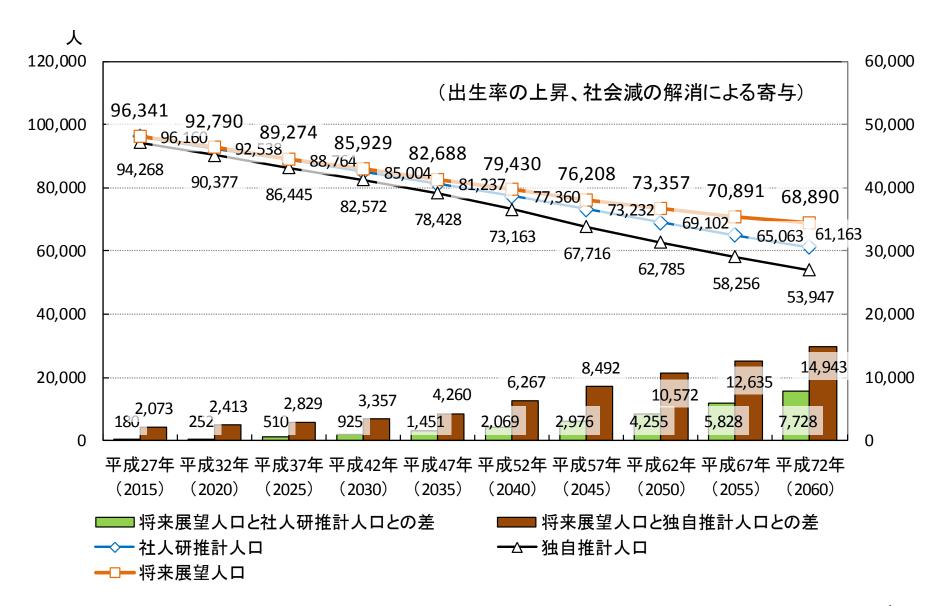
2. 社会増減の人口推移(人口移動補正)



→ 5年毎の社会増減の推移 (社人研推計値) ──年少人口、生産年齢人口の人口移動率を上昇させた場合 (社会減を徐々に解消した場合)

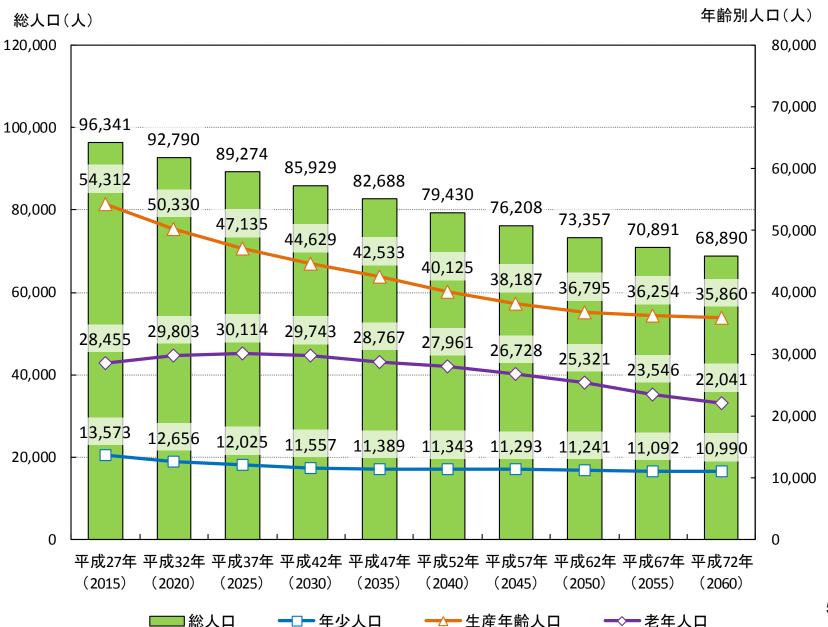
		平成27年(2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)	平成47年 (2035)	平成52年 (2040)	平成57年 (2045)	平成62年 (2050)	平成67年 (2055)	平成72年 (2060)
5年毎の社会増減の推移 (社人研推計値)	社会増減	-988	-517	-438	-416	-355	-210	-148	-128	-122	-117
	1年間の平均	-198	-103	-88	-83	-71	-42	-30	-26	-24	-23
年少人口、生産年齢人口の人口移動率を上昇させた場合 (社会減を徐々に解消した場合)	社会増減	-988	-764	-644	-564	-504	-436	-324	-216	-108	0
	1年間の平均	-198	-153	-129	-113	-101	-87	-65	-43	-22	0
社人研推計値との差(増加数)	社会増減	0	-247	-206	-148	-149	-226	-175	-88	13	117

3. 将来展望人口と社人研推移人口、独自推計人口の比較



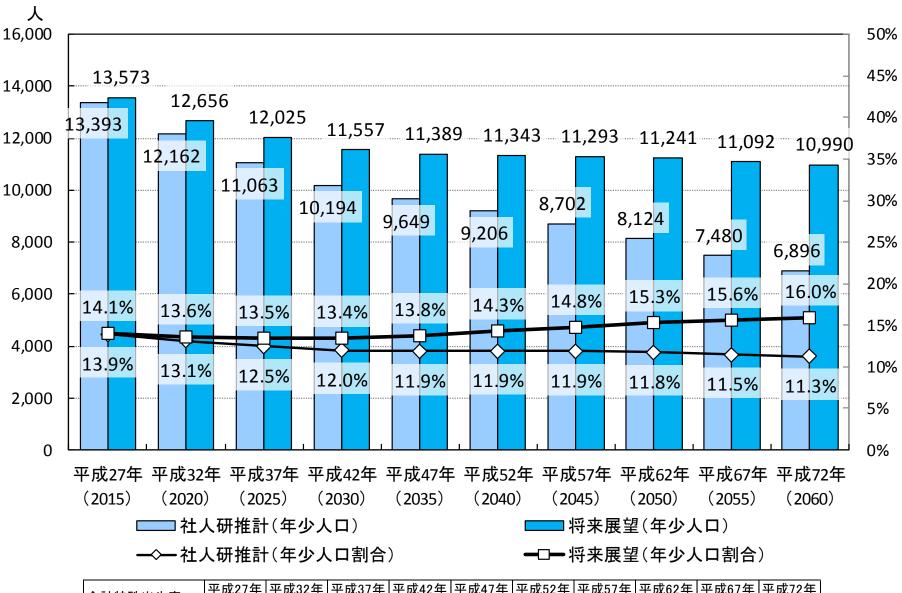
4. 総人口・年齢区分別人口の推移(将来展望人口)

━□ 年少人口



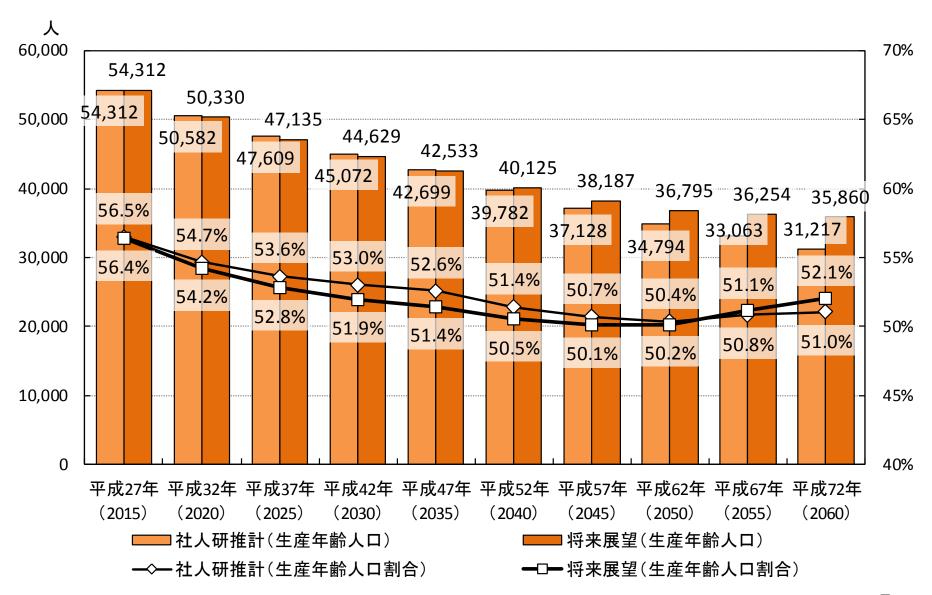
- 老年人口

4(1). 年少人口(0~14歳人口)の比較(将来展望人口・社人研推計人口)



合計特殊出生率	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年	平成52年	平成57年	平成62年	平成67年	平成72年
	(2015)	(2020)	(2025)	(2030)	(2035)	(2040)	(2045)	(2050)	(2055)	(2060)
社人研推計	1.74	1.71	1.68	1.68	1.68	1.68	1.68	1.68	1.68	1.68
将来展望	1.82	1.87	1.92	1.97	2.02	2.07	2.14	2.20	2.20	2.20

4(2). 生産年齢人口(15~64歳人口)の比較(将来展望人口・社人研推計人口)



4(3). 老年人口(65歳以上人口)の比較(将来展望人口・社人研推計人口)

